

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する。

CAC 件数は1件であった。転倒後外傷性くも膜下出血を発症後死亡した事例があった。また、便秘により排便後の転倒であったことから症例を振り返り、便秘の看護の重要性を再確認した。感染サーベイランスを行い、感染の減少を図ることを目的に取り組んだ。血流感染症 15 件/年であり、50%増加したため、ICT リンクナースが中心となり CV 挿入部の取り扱い、ルート管理、手指消毒の基本から周知徹底できるように取り組んだ。今後も継続して取り組む必要がある。STAS-J カンファレンスは4件実施した。夜勤カンファレンスを導入し、夜勤から日勤への連携、課題達成までの進捗状況の可視化を目的に取り組んだ。しかし、夜間カンファレンスの継続ができていないため、今後は継続し患者中心の看護を行っていく。

2) 病院経営に参画する

クリティカルパスを2件作成した。電子カルテ移行に伴う学習会等により計画通りに作成できなかった。次年度は作成中のパスを完成させ、新規パスを作成していきたい。7月より血液内科医師のカンファレンス(毎週火曜日)に看護師長とリーダー看護師が参加するようにした。医師カンファレンスに参加することで問題提起し、話し合えるようになったことで医師との連携が図りやすくなった。また、輸血運搬業務をクラークに依頼するために指導を行った。クラークに業務のタスクシフトを行うことで、看護師の業務軽減につながった。次年度は抗がん剤の運搬業務をタスクシフトしていく。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

転倒転落件数は前年度比 82%減であった。件数は減少し目標は達成したが、インシデントレベルⅢa 事例が発生、振り返りを実施した。抗がん剤治療中・治療後の後期高齢者患者の ADL を正しく評価することで、早期に転倒予防対策ができ、患者の安全が確保できると考える。今後も継続して取り組んでいく。

4) 専門職として能力開発に努める

ラダーⅠ～ⅢのOJTパスに沿って教育を行うことで、血液内の専門的スキルを身につけるため、教育委員、副看護師長を中心にOJTパスの作成を行った。次年度活用しながら、修正を行っていく。研修参加、資格取得は、臨床輸血看護師1名、エイズ研修2名、UTFU研修2名、PEACE1名、がん看護(基礎編)2名参加・資格取得することができた。医師との合同勉強会は毎月1回開催し、予定通り実施できた。看護師主催の勉強会の参加率は平均38.1%と低く、特に後期の参加率が低かった。参加していなくても後から視聴できるように、動画撮影したが視聴されなかった。次年度の勉強会の方法を検討していく必要がある。

5) 看護の先輩として学生に関わる

臨地実習受け入れ病院として環境改善を図るため、学生オリエンテーション内容の見直しを行った。ラダーⅢ以上のスタッフが誰でも病棟オリエンテーションが行えるように、パワーポイントを作成した。また、次年度はCEだけでなくスタッフみんなが学生に関心をもちかわることができるように、オリエンテーションもCE以外ができるようにしていく。

6) 活気ある職場、元気のある職場づくりを推進する

夜勤カンファレンスでファシリテータを行う看護師に対して、思考発話を実践できるように学習会を計画し2回/年実施した。カンファレンスの進め方や若手看護師が自ら思考できるような発問をするようなかわりを行い、若手看護師が思考できるように取り組んだ。今後は、問題提議を行いながら、カンファレンスの定着化につなげていく。

2. 病床運営状況

表 1 令和 5 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数 (人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率 (%)	病床 稼働率 (%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
47	血液内科	71.3	69.3	41.3	17.9	86.0	90.8

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
1	99.2	2	98.2	20

3. 看護体制

表 2 令和 5 年度 看護体制(令和 5 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
30	PNS [®]	3:3

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 5 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす患者 の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		25.2	23.7	24.2	22.3	20.3	20.8	25.1	25.6	21.6	24.3	29.3	25.9

2) 部署データ

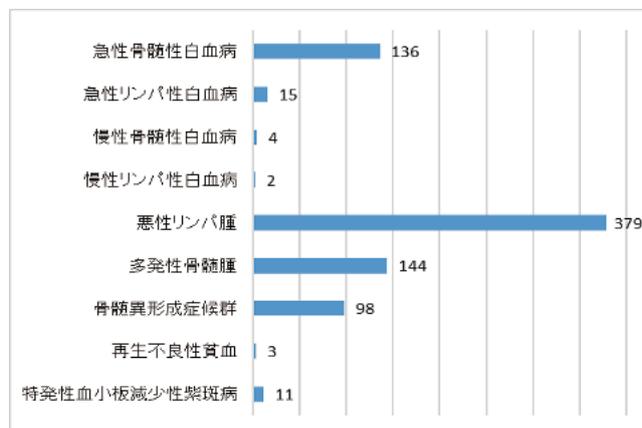


図 1 主要疾患患者数

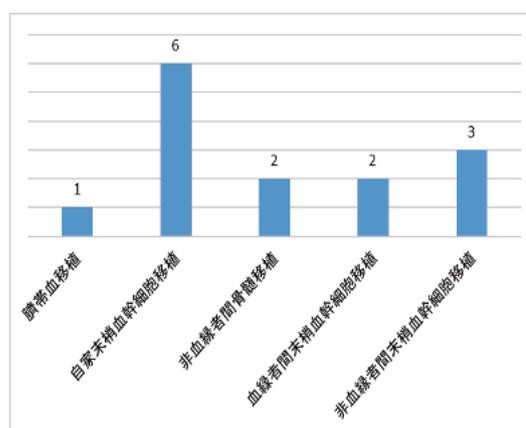


図 2 令和 5 年度 移植種類と件数